

高松市学校結核対策審議会 委員の委嘱について

教育局保健体育課

1

議案第8号

1 委員の委嘱について

(提案理由)

人事異動による学校長の代表及び養護教諭の代表の変更に伴い高松市学校結核対策審議会委員を4月1日付けで解嘱するものです。

当審議会委員が4月末で任期満了となることから、新たな学校長の代表等を含む10名を委員に委嘱するものです。

(1) 委嘱年月日

令和7年5月1日

(2) 任期

令和7年5月1日から令和9年4月30日まで

2

(3) 委員

議案第8号

選出区分	氏名	役職等	備考
結核医療に関し専門的知識を有する医師	大西 隆行	大西内科クリニック 院長	
結核医療に関し専門的知識を有する医師	藤井 笑子	高松市立みんなの病院診療部長	
学校医	合田 吉徳	屋島総合病院 常勤顧問	
学校医	住谷 朋人		
関係医師会から推薦された医師	眞鍋 正博	キッズメディカルまなべ院長	
市保健所長	藤川 愛	高松市保健所長	
学校長の代表（香川県中学校教育研究会高松支部養護部会代表）	佐々木 佳代	高松市立太田中学校校長	新規
学校長の代表（香川県小学校教育研究会高松支部学校保健部会代表）	高橋 勇一郎	高松市立鬼無小学校校長	
養護教諭の代表（香川県中学校教育研究会高松支部養護部会代表）	寺上 裕美	高松市立高松第一中学校養護教諭	新規
養護教諭の代表（香川県小学校教育研究会高松支部養護部会代表）	武下 香織	高松市立多肥小学校養護教諭	新規

令和7年度幼稚園、小・中学校及び 高松一高の園・学校訪問について

教育局学校教育課・健康福祉局こども保育教育課

4

報告事項 1

令和7年度

幼稚園・学校訪問実施要項

高松市教育委員会

1 目的

「第3期高松市教育振興基本計画」に基づき、幼稚園・学校の物的管理・人的管理及び運営管理の実情を把握するとともに、令和6年度の学校評価に基づいた園・学校課題の解決に向けた取組を支援する。

5

2 本年度の重点（小・中・一高）

～「誰一人取り残さず一人ひとりが輝く教育」「高松で育ち、高松で学び、高松で暮らして良かったと思える教育」～

① 生きる力を育む学校教育の充実

確かな学力の育成、外国語教育・ICTを活用した教育・道徳教育・人権教育・読書活動・体力づくりと健康教育・食育・キャリア教育・主権者教育・シビックプライドを育む教育の推進 等

② 安全・安心で魅力ある教育環境の充実

学校教育施設・ICT環境の整備・充実、いじめや暴力の未然防止、不登校児童生徒への支援、特別支援教育・防災教育・幼小中の連携・接続・学校における働き方改革の推進、教員の資質・能力の向上 等

③ 家庭・地域とともに育む教育力の向上

地域とともにある学校づくりの推進、情報モラル教育の推進、家庭・地域の教育力の向上

3 実施期間 小・中・一高 令和7年5月～11月

4 訪問予定日（小・中・一高）

月	日	曜	訪 問 校		
			小学校(番号01～31)	小学校(番号32～49)	中学校
5	7	水	一宮小学校		一宮中学校
	14	水	前田小学校	太田南小学校	
	15	木	檀紙小学校	木太南小学校	
	19	月	男木小学校		男木中学校
	21	水	仏生山小学校		
	26	月		庵治小学校	庵治中学校
	27	火			牟礼中学校
6	30	金	新番丁小学校		みねやま分校
	3	火		屋島西小学校	木太中学校
	9	月	亀阜小学校		玉藻中学校
	23	月		浅野小学校	香川第一中学校
	24	火	鶴尾小学校	国分寺北部小学校	
7	27	金	中央小学校		屋島中学校
	1	火			龍雲中学校
	3	木	木太小学校	牟礼北小学校	
	4	金	植田小学校	香南小学校	香南中学校
	7	月	古高松小学校	牟礼南小学校	
	8	火	川島小学校		桜町中学校

9	16	火	川岡小学校		紫雲中学校
	22	月		古高松南小学校	古高松中学校
	24	水	多肥小学校		
	26	金	円座小学校	国分寺南部小学校	
	30	火	十河小学校		香東中学校
10	1	水	栗林小学校		
	3	金	川添小学校	牟礼小学校	
	6	月	林小学校	屋島東小学校	
	9	木	三溪小学校	大野小学校	
	14	火			塩江中学校
	16	木	高松第一小学校		高松第一中学校
	17	金	太田小学校		太田中学校
	20	月		川東小学校	山田中学校
	22	水	東植田小学校	塩江小学校	
	27	月	香西小学校		五色台分校
11	28	火	下笠居小学校		下笠居中学校
	6	木			協和中学校
	7	金	弦打小学校		
	11	火	屋島小学校	木太北部小学校	
	13	木	鬼無小学校		国分寺中学校
	14	金	花園小学校		勝賀中学校
	18	火		高松第一高等学校	

2 本年度の重点（幼稚園・こども園）

～「誰一人取り残さず一人ひとりが輝く教育」「高松で育ち、高松で学び、高松で暮らして良かったと思える教育」～

○就学前教育の充実（幼稚園・こども園）

- ・「高松っ子いきいきプラン改訂版」に基づき、乳幼児の発達や興味・関心等を踏まえながら、一人ひとりの育ちを見通した質の高い教育・保育の充実
- ・豊かな心と体を育む特色ある就学前教育の推進
- ・人権教育、特別支援教育、健康教育、読書活動、食育、保こ幼・小の連携・接続の推進

○安全・安心で魅力ある教育環境の充実（幼稚園・こども園）

- ・ICT環境の整備・充実、子どもの安全対策・防災教育、働き方改革の推進、教員の資質・能力の向上

○家庭・地域の教育力の向上、地域とともにある園づくりの推進（幼稚園・こども園）

- ・子育てに関する相談や情報提供、地域と連携した子育て支援の充実

○保健・安全・給食に関する事項（こども園）

- ・健康の保持増進、事故防止・安全対策、給食の適切かつ衛生的な提供に関する取組状況

8

3 実施期間 令和7年5月～7月

4 訪問予定日

【幼稚園】

【こども園】

月	日	曜	園名	月	日	曜	園名	月	日	曜	園名
5	8	木	国分寺南部	5	27	火	木太	6	24	火	はら
	13	火	香西		29	木	栗山		26	木	庵治
	14	水	円座		30	金	一宮		30	月	浅野
	15	木	木太北部	6	5	木	前田	7	1	火	屋島
	16	金	川添		6	金	鬼無		2	水	川島
	19	月	多肥		9	月	大野		3	木	林
	20	火	国分寺北部		11	水	弦打		4	金	香南
	21	水	檀紙		12	木	川岡		8	火	塩江
23	金	三溪				11	金		川東		
						15	火		下笠居		
						16	水		田井		

9

スーパーサイエンスハイスクール（SSH） の令和6年度研究成果の報告について

教育局高松第一高等学校

10

SSHとは 文部科学省 運営事業（一部）

報告事項 2

SGH

スーパー グローバル ハイスクール

国際的素養を身に付け、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を図る

SSH

スーパー サイエンス ハイスクール

将来の国際的な**科学技術関係人材を育成**するため、先進的な理数教育を実施する

SPH

スーパー プロフェSSIONAL ハイスクール

専門高校等において、各機関・企業等との連携の強化し、社会の変化や産業の動向等に対応した知識・技能を身に付け、第一線で活躍できる専門的職業人の育成を図る

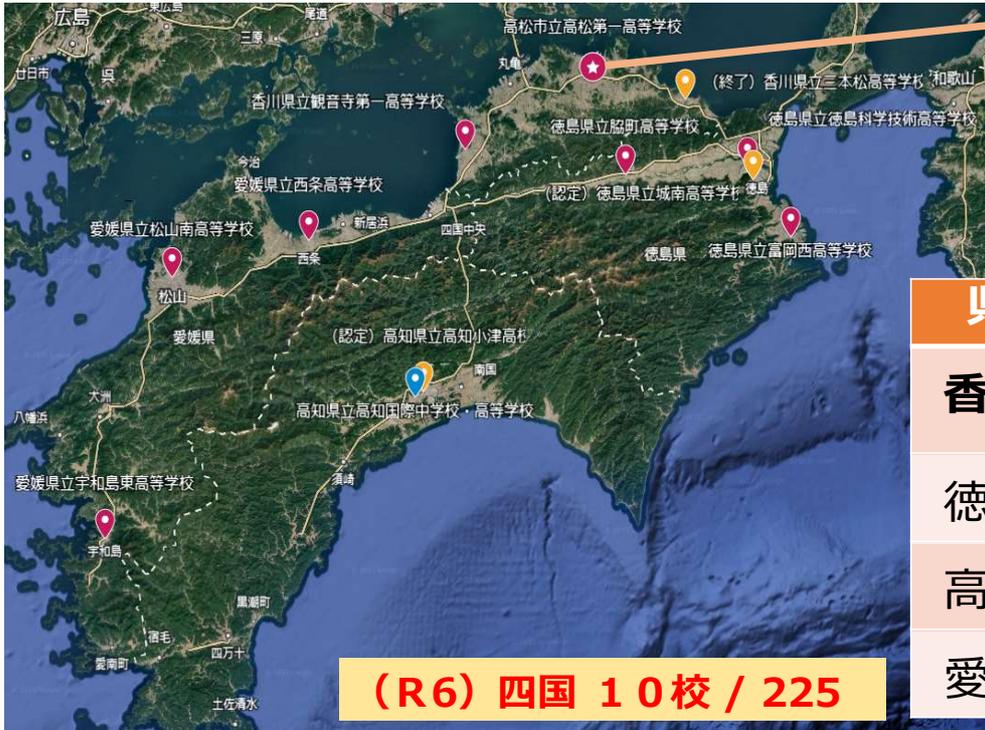
●1期5年

（本校は16年目。IV期1年目）

- 年間 600万～1200万円の予算
- 理数系分野を重視した教育課程を編成
- 主体的・協働的な学びを重視
- 興味関心の喚起やフィールドワーク等による自主研究の取組
- 各機関との連携により高度に実施 等

四国のSSH指定校

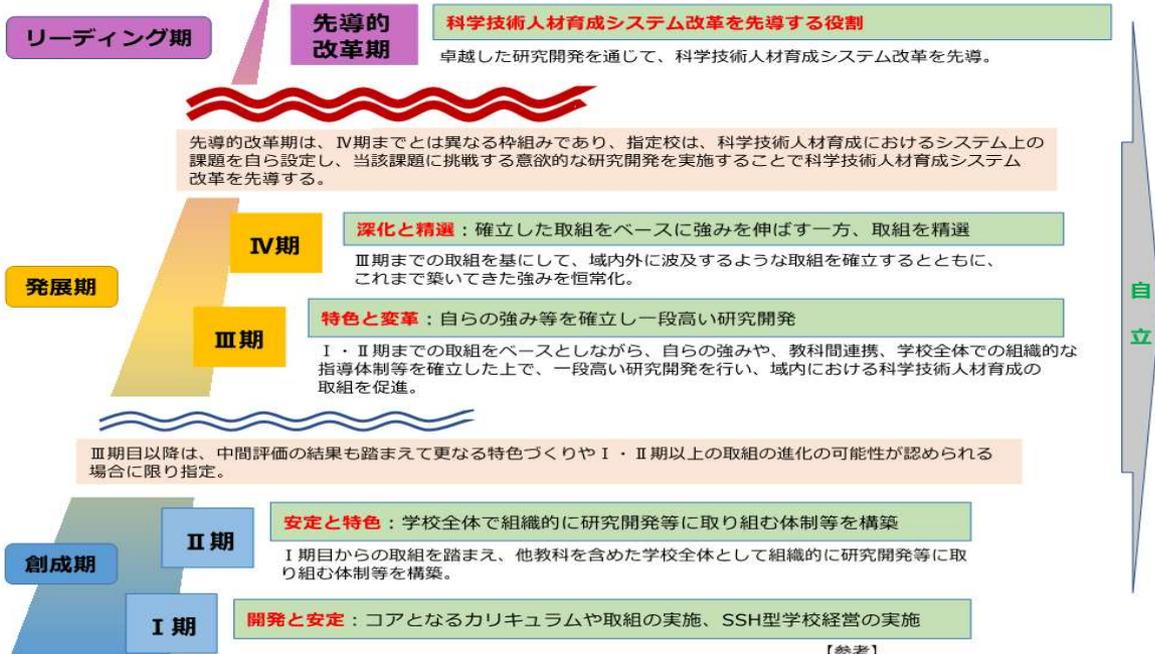
報告事項 2



県	指定校
香川	2 高一（Ⅳ期）・観一（Ⅲ期）
徳島	4
高知	1（認定枠）
愛媛	3
	12

SSH指定校の目指す姿（イメージ）

報告事項 2



一定のSSHの実績を有する学校を「認定枠」として指定。
科学技術人材育成のモデルとして、これまでの研究開発の成果を基にした多様な実践活動を普及・展開。

【参考】

- 開発型：原則としてⅠ期目の指定校
- 実践型：Ⅱ期目、Ⅲ期目、Ⅳ期目の指定校
- 先導的 改革型：先導的 改革期（先導Ⅰ期～）の指定校



研究開発
課題

「知的好奇心・探究心を源に、
共創的科学的力を発揮して新たな価値を創造し続ける人材の育成」

研究開発の概要

- I カリキュラム・マネジメントの視点で視野の広がりを生む**授業改善**の実践とその評価
- II 共創的科学的力を発揮し多様な価値を創造する場としての**専門深化型課題研究**・教科継走型課題研究の実践
- III **外部連携**を活用した視座の高まりによる地球市民育成のための持続可能なプログラムの開発・実践
- IV **地域における**科学技術人材の裾野を広げる**サイエンスネットワーク**の形成

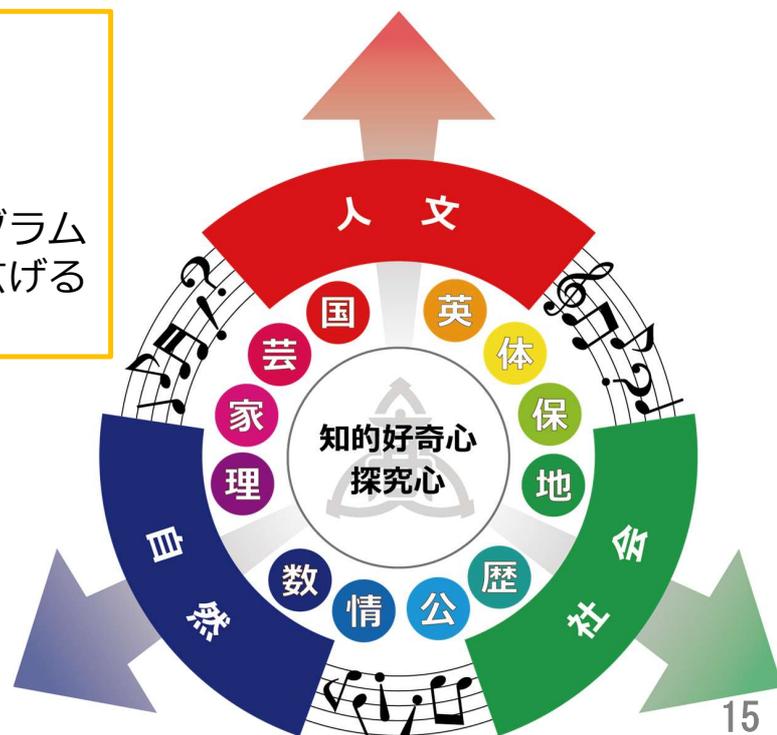
一高SSHの思い

今来ている生徒だけでなく、これから来る生徒にも還元できるものを
→ 「**教員の指導力向上、授業改善**を」 14



研究開発の概要

- I 視野の広がりを生む**授業改善**
- II 共創的科学的力を発揮し多様な価値を創造する場としての**課題研究**
- III **外部連携**を活用した持続可能なプログラム
- IV **地域における**科学技術人材の裾野を広げる**サイエンスネットワーク**の形成



①カリキュラム・マネジメントの視点で視野の広がりを生む**授業改善**の実践とその評価

- ・視野の広がりを生む**アクティブラーニング**の実践・検証・開発（教科専門型 および 文理融合・教科横断型）
- ・パフォーマンス課題とパフォーマンス評価

②共創的科学的力を発揮し多様な価値を創造する場としての**専門深化型課題研究・教科継走型課題研究**の実践

- ・普通科特別理科コース対象の**専門深化型**課題研究「**Science Research**」の開発・実施
- ・普通科理系・国際文科・文系・美術専門コース及び音楽科対象の**教科継走型**課題研究「**未来への学び**」の開発・実施

③**外部連携**を活用した視座の高まりによる地球市民育成のための持続可能なプログラムの開発・実践

- ・大学、博物館、研究機関、企業等との連携プログラムの充実
- ・SSH総合科学講演会で**最先端の科学や科学の融合を学ぶ**
- ・「関東合宿（3泊4日）」や「英国海外研修（5泊7日）」で**ホンモノに触れる**機会を設定
- ・「科学英語向上プログラム」における 科学的コミュニケーション能力と国際感覚の醸成

④地域における科学技術人材の裾野を広げる**サイエンスネットワークの形成**

- ・「身近なロールモデル」である**卒業生や地元出身者の活用**
課題研究のアドバイザーやメンター、出張講義・関東合宿の講師やTAとして活用
- ・高松市教育委員会と連携し、「科学体験教室」、「中学生課題研究支援事業」、「小中学校教員連携事業」などを開催

・視野の広がり ・視座の高まり ・様々な科学的視点での課題発見力・課題解決力の育成¹⁶



授業改善について

チームによる

- ① アクティブラーニング型授業の実践
- ② 教科横断型授業の導入
- ③ パフォーマンス課題・評価
- ④ ルーブリックを用いた評価

など

教科横断型 A L のプログラム開発・実践・検証

目的：「実社会での問題発見・解決に生かしていくため、教科の枠を越えて関連することを学ばせたり、より深く学ばせたりする。」

今年度の実践報告 その1

「生物」×「英語」

単元名	生態と環境
単元目標	生態系における生物間の関係性及び生物と環境との関係性を探ること
実践内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の授業に英語が関わる形で実施 ・生態系に関わる啓発ポスターを外国人観光客向けに英語で作成

教科横断型 A L のプログラム開発・実践・検証

目的：「実社会での問題発見・解決に生かしていくため、教科の枠を越えて関連することを学ばせたり、より深く学ばせたりする。」

今年度の実践報告 その2

「保健」×「家庭科」

単元名	現代社会と健康（保健体育） 食生活と健康（家庭科）
単元目標	健康を保持増進し、疾病を予防するために必要な食事や運動を理解すること
実践内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保健の授業に家庭科が助言する形で実施 ・テーマにそった食事内容を考案、発表

授業改善の取組に関する利点整理 (12月教員アンケートより)

○生徒にとって

- ・AL型授業により主体的・対話的に学ぶことで**学習意欲が増す**
- ・学んだことが習得しやすい
- ・パフォーマンス課題を通して思考・判断・表現力の育成につながる
- ・ルーブリックにより到達目標を示すことで、**何を学ぶのかが明確になる**

など

○教員にとって

- ・チームで意見交換や情報共有をすることで、**他の先生から多くのことを学んだ**
- ・**視野が広がった**
- ・パフォーマンス課題を通して多面的に評価することができた
- ・研究授業に取り組み、教材研究・開発が進んだ
- ・**授業力が向上した**
- ・学校全体で良い授業を作ろうという**意識や雰囲気が高まった**
- ・新しい課題に取り組むチャレンジ精神が養われた

など 20



課題研究の取り組み

ふかめる探究

普通科特別理科コース

「SR I・II・III」における**専門深化型**課題研究

普通科理系コース・国際文科コース・ 文系コース・美専コース、音楽科

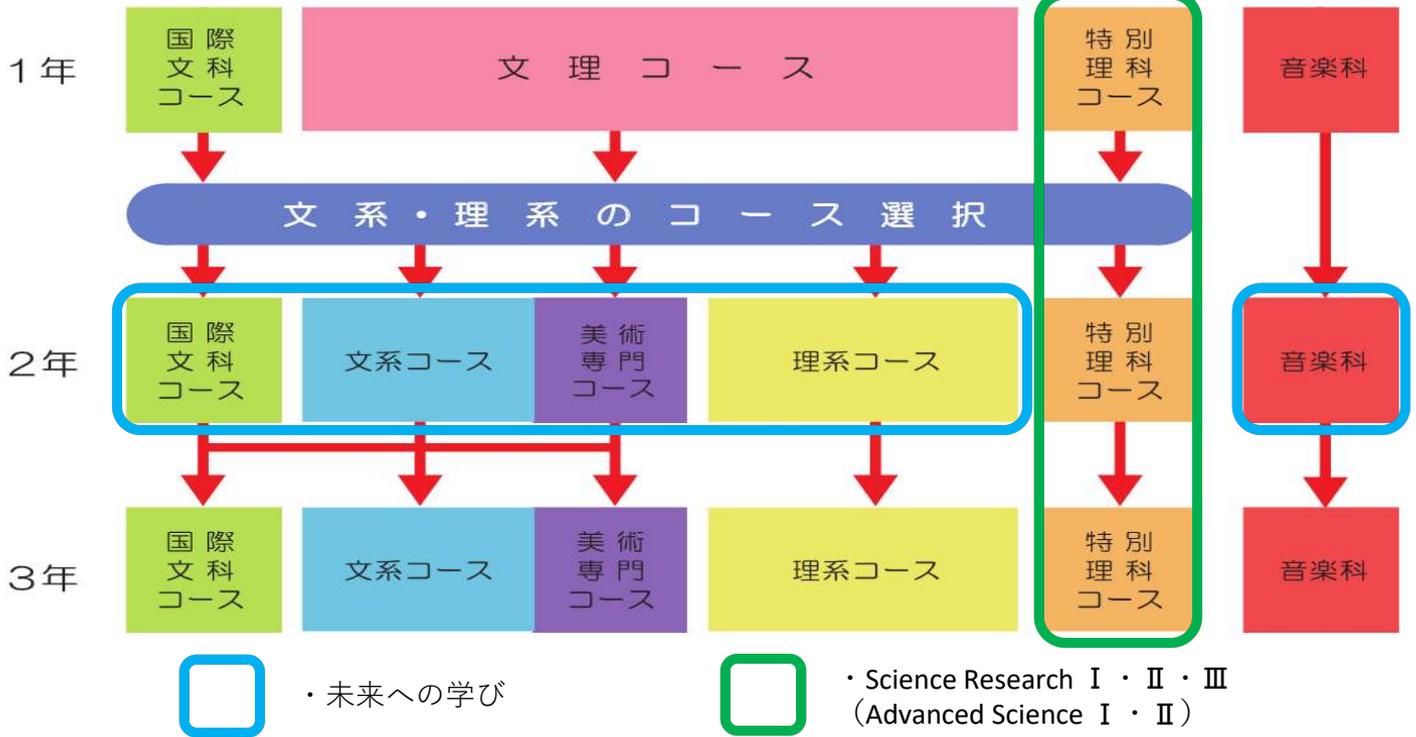
「未来への学び」における

教科継走型課題研究



課題研究の取り組み

報告事項 2



22

専門深化型課題研究「Advanced Science」

報告事項 2

2年生			3年生		
1	2	3	1	2	
AS I			AS II		
<ul style="list-style-type: none"> ① オリエンテーション ② 課題研究テーマ検討・グループ分け ③ 課題研究テーマ決定・研究開始 ④ 第1回中間発表会 <ul style="list-style-type: none"> ・「実験ノートの書き方」講義 ・ 四国地区の発表会を聞く 			<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 第2回中間発表会 ⑥ 第3回中間発表会(英語ポスター) <ul style="list-style-type: none"> ・ イギリス海外研修 ・ 英語によるプレゼンテーション授業 	<ul style="list-style-type: none"> ⑦ 第4回中間発表会 ⑧ 課題研究成果発表会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 四国地区SSH生徒研究発表会 ・ 学会等発表 ・ 県高校生科学研究発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ⑨ 論文提出 ・ 学会等発表



23



研究テーマ「ふりかけ容器の形状に関する研究」

1. 研究動機

日本で最も有名なふりかけの一つ、「のりたま」を食べようとしたとき、海苔ばかり、または、たまごばかり、になった経験はないだろうか。私たちは、その現象の原因を探り、その問題を解決できるふりかけ容器の形状について考察しようと考えた。

2. 方法と結果

IWAKIのふりかけ容器を用いて、海苔の出る量と回数ごとの総質量との関係性を調べた。海苔の割合が大きいときに総質量が小さく、海苔の割合が小さい時に総質量が大きくなった。この変化は交互に起きている。

3. 今後の課題

結果から、海苔が開口部に溜まることで、たまごが出にくくなっているのではないかと仮説を立てた。この仮説を検証するために、容器を振るときの開口部の様子を動画で撮り、開口部の様子と海苔の割合、たまごの関係性を考察していく。

24



研究テーマ「打ち水で涼しくするには」

1. 研究動機

打ち水で体感温度を下げ、生活を快適にしたいと思った。だが、特定の環境条件では打ち水によって体感温度が上がってしまうことがわかった。そのため打ち水をするのに適した環境条件を知りたいと思った。

2. 方法と結果

1m²の範囲に散水を行い、路面温度、気温、湿度、風速を測定し、マイナスル改良計算式を用いて体感温度の変化を調べた。その後4m²に範囲を変更し同様の実験を行ったが、いずれの実験でも打ち水の効果を観測することはできなかった。風速が打ち水の効果に与える影響が大きいのではと考え、室内でアスファルトを作成し、環境条件をコントロールした実験を行った。

3. 今後の課題

- ・環境条件を変化させ、試行回数を増やす。
- ・より広範囲に、大量の水を散水する実験を考案する。

25



【学校設定科目】 未来への学び (火⑥⑦)

【目的】

様々な教科・科目による教科継走型の課題研究を通じて**探究の手法を学び、物事を多面的に捉える視点を持たせる。**

- 3~5名で1班 ○クラスを解体して実施
- 各分野に分かれ探究活動
- 理系4週、文系5週で1分野終了

R3~R6 年度

理系生徒

理系テーマA → 理B → 理C → ……
→ **文系テーマ** → 深める・発表

文系生徒

文系テーマA → 文B → 文C → ……
→ **理系テーマ** → 深める・発表

R7 年度~

理系生徒

理系テーマA → 理B → 理C → 理D →
(1テーマ**4週**)

文系生徒

講演会 → 文系テーマA → 文B → 文C →
(1テーマ**5週**)

文系 → 深める → 発表会 (クラス・学年)

クロス

理系 → 深める → 発表会 (クラス・学年)

【資料1】令和6年度 SSH関係コンテスト等受賞実績

○かがわ総文祭プレ大会 兼 第12回香川県高校生科学研究発表会

日時：7月27日（土） 会場：香川大学

ステージ発表

- ・その球捕るか避けるか、どっじなんだい～ドッジボールの公式を作る～
- ・うどんのゆで汁のろ過に最適な炭の構造
- ・一筆書きできる図形の考察

最優秀賞

最優秀賞

優秀賞

ポスター発表

- ・床の滑り方に関する研究
- ・パーフェクトジェンガを達成させるための方法
- ・校庭ワカメを使ってコンクリートを作る

最優秀賞

優秀賞

サイエンスアイデア賞

○第10回かはく科学研究プレゼンテーション大会

日時：8月4日（日） 会場：愛媛県総合科学博物館

- ・船を最速にするための条件
- ・校庭ワカメを使ってコンクリートを作る
- ・床の滑り方に関する研究

奨励賞

奨励賞

奨励賞

○日本獣医学会高校生企画 サイエンスファーム 2024

日時：8月17日（土） 会場：酪農学園大学（ハイブリッド開催）

- ・納豆菌がオリーブに与える影響について

奨励賞

○日本学生科学賞（論文）

- ・捕球率を表す式の作成 ～その球捕るか避けるか、ドッジなんだい～

香川県審査 最優秀賞

○坊ちゃん科学賞（論文）

- ・吹き矢の精度に関する研究
- ・校庭ワカメはバイオミネラリゼーションを行っているのか
- ・植物の持つ洗浄効果 ～髪の毛の清潔さを保つためには～
- ・納豆菌がオリーブに与える影響
- ・星と気象の関係性

入賞

入賞
